

平成 28 年度東播磨地域夢会議 アンケート集計結果

I 概要

1 アンケート集計数 49 件/75 名(一般参加者) 回収率 65%

2 評価状況

| | よかった | よくなかった | どちらでもない | 未回答 | 計 |
|--------------|---------------|-------------|--------------|-------------|----------------|
| 活動報告 | 44 件 (90%) | 0 件 (0%) | 4 件 (8%) | 1 件 (2%) | 49 件 (100%) |
| グループディスカッション | 41 件 (84%) | 2 件 (4%) | 5 件 (10%) | 1 件 (2%) | 49 件 (100%) |
| 全体会 | 43 件 (88%) | 0 件 (0%) | 4 件 (8%) | 2 件 (4%) | 49 件 (100%) |
| 全 体 | 87% | 1% | 9% | 3% | 100% |

II 主な意見

1 活動報告

- 自身とは違う観点から東播磨地域について考えられた。
- さまざまな立場の人の発表を聞いて、新たな発見があった。
- 学生の提案はおもしろく、特に“カンキチ地蔵”が良かった。
- 子ども、高校生及び大学生の取組や今後、東播磨地域が“こうあって欲しい姿”の生の声を聞いた。
- 子ども観光大使が提案された“加古川タワー”のようなシンボルが、魅力ある地域資源になるのではないか。また、自身の発表を伝えられた。

2 グループディスカッション

- 大人やほかの学校の人たちと意見交換できて良かった。
- 自身では思い浮かばなかった“つながり”をほかの人から聞いた。
- “地域づくり”“世代間交流”について、新しい見方ができるようになった。
- 若い世代からも、意見が多く出てきて、地域(まち)を考えるきっかけになった。
- 改めて、“若者を地域にどう呼び込むか”“どうすれば若い人が盛り上がるか”を考えるきっかけになった。

3 全体会(発表&講評)

- ほかのグループ発表から、さまざまな「想い」を聞いた。
- “きっかけづくり”が大切で、もっと考え、工夫していく必要があることに気付けた。
- 過密スケジュールのなか、コーディネーター及びコメンテーターが良くまとめられた。
- 若い人が、ディスカッション内容を要領よくまとめて、自身の“言葉”で表現する、技術や能力に関心した。
- さまざまな意見がありましたが、全体として言えることは、“人との交流”でした。人との交流が地域を変えると感じた。